

【石川県版】

狩猟免許実地試験の流れ

～ 一種免許 ～

本書について

この資料は私が【第一種銃猟免許】を取得した際、その実技講習の練習に伴って作成したものです。

石川県内にお住まいの方であれば講習会での教習後、こちらの資料を使って練習頂くことで、実技の合格率を100%に近づけることができるかと思えます。

他県の方においても、基本の流れは同じはずですので資料を参考に手直しし、使っていただければと思います。

チェック要項

- ①銃を持ってくる
- ②銃の分解、結合、点検
- ③装填、射撃姿勢、脱包
- ④団体行動
- ⑤銃の受け渡し
- ⑥休憩
- ⑦銃を元の場所に戻す

※全ての動作において、絶対に銃口を人に向けないこと

①銃を持ってくる

担当官『銃を持ってきてください』

「はい、銃を持ってきます」

→銃を取る

→「銃腔内異常なし」

→銃を持って担当官の前まで移動

→「銃腔内異常なし」

→目線を銃口に向けつつ銃を置く

→「銃を持ってきました」

②銃の分解、結合、点検

担当官『銃の分解、結合、点検を行ってください』

「はい、銃の分解、結合、点検を行います」

- 銃を手に取り、少し下がる→「銃腔内異常なし」
- 「閉鎖します」→銃を閉鎖→銃を机の上に立てる
- 「銃を分解します」→先台を外して置く
- 銃をもって後ろに下がり「開放します」→銃を開放→銃身と銃床を外して銃床を置く
- 銃身を覗き「銃腔内異常なし」→銃身を置く→「銃の分解が終わりました」

「銃を結合します」

- 銃身を持って後ろに下がり「銃腔内異常なし」→銃床を取る
- 銃身と銃床を結合し「閉鎖します」→銃を閉鎖
- 銃を机の上に立てて先台を付ける→「銃の結合が終わりました」

「銃の点検をします」

- 銃身を叩いて「銃身異常なし」
- 先台を叩いて「先台異常なし」
- 銃床を叩いて「銃床異常なし」
- 安全装置を上下し「安全装置異常なし」
- 安全装置を触りながら引鉄を引き「引鉄、異常なし」
- 銃を持って少し下がり「開放します」→銃を開放→「銃腔内異常なし」→銃を机の上に置く
- 「銃の分解、結合、点検が終わりました」

③装填、射撃姿勢、脱包

担当官『装填、射撃姿勢、脱包をしてください』

「はい、装填、射撃姿勢、脱包を行います」

→銃を手に取り「銃腔内異常なし」→隣と重ならないように少し下がる

→「銃腔内異常なし」→「装填します」→装填する

→「閉鎖します」→銃を閉鎖

→「射撃姿勢」

→ターゲットに向かって銃を構える→「射撃します」

→引鉄を引く→「射撃しました」

→銃を下ろして「開放します」→銃を開放→「脱包します」→弾を取る

→「銃腔内異常なし」

→銃を持って机の前に移動→「銃腔内異常なし」→銃を机に置く

→「装填、射撃姿勢、脱包を終わりました」

④団体行動

担当官『猟場での団体行動を通して、銃の安全取扱いを行います』『銃を持って3歩下がってください』

「はい、団体行動をします」

→周りを気にしつつ、銃を手に取り「銃腔内異常なし」→3歩下がる「銃腔内異常なし」

『銃を閉鎖してください』

→「閉鎖します」→銃を閉鎖

『右向け一右』

- ▶先頭：銃は下に構えたまま右を向く（変化無し）
- ▶中：左下に構えた銃を左から右へ回すように左上に構えつつ、右を向く
- ▶最後尾：左下に構えた銃を左から右へ回すようにして左肩に担ぎ、右を向く

『回れ一右』

- ▶先頭：左下に構えた銃を左から右へ回すようにして肩に担ぎ、後ろを向く
- ▶中：銃を左上に構えたまま、後ろを向く（変化無し）
- ▶最後尾：左肩に担いだ銃を左下に移動しつつ、後ろを向く

『右向け一右』

- ▶先頭：左肩に担いだ銃を左下に構えつつ、右を向く
- ▶中：左上に構えた銃を左下に移動しつつ、右を向く
- ▶最後尾：左下に銃を構えたまま、右を向く（変化無し）

『銃を開放してください』

→「開放します」→銃を開放する→「銃腔内異常なし」

『銃を机に戻してください』

→机の前に移動→「銃腔内異常なし」→銃を机に置く

→「団体行動を終わりました」

⑤銃の受け渡し

担当官『障害場所での銃の受け渡しを行います』『この机を川または崖と想定して、試験官との銃の受け渡しをしてください』

「はい、銃の受け渡しをします」

→銃を手に取り「銃腔内異常なし」→「閉鎖します」→銃を閉鎖

→銃身を持ちつつ銃を試験官に渡す→「銃を渡します」

試験官：『銃を受け取りました』→点検→『銃を渡します』

→銃を受け取りつつ「銃を受け取りました」

→「開放します」→銃を開放→「銃腔内異常なし」

→銃を机に置いて「銃の受け渡しを終わりました」

⑥休憩

担当官『休憩時を想定し、銃をイスの上に置いて試験官の前まで来てください』

「はい、休憩します」

→銃を手に取り 「銃腔内異常なし」

→銃を持ってイスまで移動→ 「銃腔内異常なし」

→銃をイスに置く（引鉄の部分をイスの真ん中に）

→戻る

→ 「銃を置いてきました」

⑦銃を元の場所に戻す

担当官『銃を元の場所に戻し、試験官の前まで来てください』

「はい、銃を元の場所に戻します」

→イスまで移動

→周りに銃口が向かないように順番に銃を手にする

→「銃腔内異常なし」

→銃を持って元の場所（最初に銃があった場所）まで移動

→「銃腔内異常なし」

→銃を元の場所に置く

→戻る

→「銃を元の場所に戻しました」

【石川県版】

狩猟免許実地試験の流れ

～ 二種免許 ～

チェック要項

- ①銃を持ってくる
- ②圧縮操作
- ③弾をこめて射撃
- ④銃を元の場所に戻す

※全ての動作において、絶対に銃口を人に向けないこと

①銃を持ってくる

担当官『銃を持ってきてください』

「はい、銃を持ってきます」

→銃の場所へ移動

→銃の開放を指差し確認し 【開放よし】

→銃口を上に向けたまま銃を持っていく

→銃を置く

→銃の開放を指差し確認し 【開放よし】

→「銃を持ってきました」

②圧縮操作

担当官『圧縮操作をしてください』

「はい、圧縮操作をします」

→銃の開放を指差し確認し 【開放よし】

→銃を抱えて圧縮操作をする（3回）

→「圧縮操作を終わりました」

③弾をこめて射撃

担当官『弾をこめて射撃してください』

「はい、弾をこめて射撃します」

→弾をこめる（動作をする）

→閉鎖する

→ターゲットに向けて構える

→射撃する

→銃を下ろして開放する

→銃を机に置く

→銃の開放を指差し確認し **【開放よし】**

→「射撃を終わりました」

④銃を元の場所に戻す

担当官『銃を元の場所に戻してください』

「はい、銃を元の場所に戻します」

→銃の開放を指差し確認し 【開放よし】

→銃口を上に向けたまま銃を持っていく

→銃を元の場所に置く

→銃の開放を指差し確認し 【開放よし】

→戻る

→「銃を元の場所に戻しました」